

2024年度 事業報告

<第一部> 事業の概要

はじめに

2024年度は、日本フィルにとってコロナ禍後の「新しい世界と社会の変容」に適応しなければならない岐路の年でしたが、芸術面の向上と社会性活動の充実という点で一定の成果を上げることができました。

芸術面では、首席指揮者カーチュン・ウォンが就任2シーズン目を迎え、自身が得意とするマーラー作品や、ライフワークである「アジアへの眼差し」が注がれた作品等を取り上げて「日本フィルらしい音楽の追求」に大きな成果を上げました。

特に9月の演奏会では生誕200年を迎えたブルックナーの交響曲第9番を、3月にはマーラーの交響曲第2番＜復活＞という大曲を取り上げて、作風の違う2人の作曲家を対置させながら、自身の持つ天性の感性と世紀末ヨーロッパの精神が響き合って大いに観客を魅了しました。

また、長年に亘り、楽団の支柱として活躍する桂冠名誉指揮者小林研一郎は、今期も変わらず多くの演奏会を指揮し、芸術性の弛まぬ追求と円熟味に満ちた演奏で多くのファンを虜にし、その存在感の大きさを見せてくれました。

フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)広上淳一は、10月の演奏会でヴェルディの傑作“レクイエム”を指揮し、リスナーを興奮に導く素晴らしい演奏は大好評を博しました。また2025年4月に公演するセミステージ方式のオペラ「仮面舞踏会」の下準備に奔走し、いよいよ「オペラの旅」が始動するわくわく感を抱かせる年でありました。

また特筆すべきこととして、恒例の子供ファミリー向け「夏休みコンサート」と、九州全県をオーケストラ・ツアーで廻る「九州公演」が、共に記念となる節目の50年目を迎え、日本

フィルの歴史に輝かしい功績として新たに刻まれたことが上げられます。

芸術性と並ぶもう一つの柱である社会性活動を述べると、震災発生から14年間続けて来た「被災地の音楽を」の活動は360回を超え、現在も継続的に行っております。

岩手県に続き今年度は福島県とも「包括連携協定」を結び、避難指示の解除された南相馬市や双葉町でも演奏会を催し、また今年度も「東北の夢プロジェクト」は盛岡市と郡山市の両市で演奏会を開催、地元の子供たちや多くの皆様との熱い交流を通じて未来への希望と活力をしっかりと届けてまいりました。

2024年度の財政実績ですが、コロナが収束し、ようやく来場者数も増加に転じ、演奏収入は確実に増えましたが、一方で事業費の高止まりで経費の改善には課題を残しましたが、助成金・寄付金等の増加が寄与して、最終損益は黒字を見込める水準まで回復しました。

1956年に渡邊暁雄によって創設された日本フィルは、来年の2026年が楽団創立70周年に当たり、2025年度後半からプレ周年に入ります。

70周年記念事業の成功につなげていくために、プレ周年の時から全力で記念事業の準備を進め、苦難の時代から長年日本フィルを応援してくれた多くのファンの皆様方のご恩に報いて参りたいと思っております。

1. 2024年度事業の概観

◆ カーチュン・ウォン、首席指揮者就任2年目にして人気急上昇

首席指揮者就任披露演奏会で自身の得意とするマーラーの交響曲第3番を取り上げ、センセーショナルな演奏で圧巻のデビューを果たしたカーチュン・ウォンは、今年度も様々な局面で精力的な活動を展開し、大きな芸術的成果をあげることができた。

5月の東京定期演奏会ではマーラーの交響曲第9番を、また翌年3月の演奏会では交響曲第2番＜復活＞を取り上げ、いずれも深い呼吸で紡がれた崇高な演奏が多くの聴衆を魅了し、就任2年目にして指揮者とオーケストラが相乗効果を発揮ながら、互いの信頼関係が一体化したことを大いに感じさせる出来栄であった。

また、9月の演奏会では、生誕200年を迎えたブルックナーの交響曲第9番を取り上げ、マーラーとは違う作風のブルックナーを対置させて観客を大いに沸かせた。

記念となる50年目の九州公演ではカーチュン・ウォンが全公演とも指揮を振り、ソリストにチェロ宮田大、ピアノ仲道郁代を迎えて全県を廻ったが、開催した9つの演奏会はどこも大盛況を博し、ウォンも持ち前の職人魂を発揮して人気は急上昇、オーケストラと充実した2週間を過ごすことができた。

◆ 内外マエストロと日本フィルならではの音楽を届けることができた

2024年度はカーチュン・ウォン以外にも多彩なマエストロが登場して、オーケストラとの華麗な饗宴が行われ、日本フィルならではの芸術性の高い優れた音楽を届けることができた。

長年にわたり日本フィルの基柱である小林研一郎(桂冠名誉指揮者)は勿論のこと、フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)広上淳一や、ベテランの井上道義、下野竜也、藤岡幸夫、鈴木優人、若手では出口大地、さらには海外で大活躍中の前正指揮者山田和樹(バーミン

ガム市交響楽団首席指揮者)、また外国人では前首席指揮者ピエタリ・インキネンやフランソワ・ルルー、さらに夏休みコンサートの梅田俊明、永峰大輔など、多彩なマエストロ陣が次々に登場し、どの演奏会でも素晴らしい音楽を皆様に届けることができた。

その中でも特に印象に残るシーンは、昨年度で引退を表明した井上道義が日本フィルを指揮する最後の舞台となった5月の横浜定期演奏会である。マエストロの早すぎる引退を惜しむ多くのファンが会場に駆けつけ、ショスタコーヴィチの交響曲第10番を指揮して、満席の観客の大喝采を浴びた。

また、桂冠指揮者小林研一郎は、東京、横浜定期の各演奏会、第九演奏会、コバケン・ワールドなど2024年度も数多くの演奏会に登場し、いずれも満席の会場で巨匠としての実力を遺憾なく発揮した。

前正指揮者で今年6月にベルリンフィルを指揮する山田和樹が1月の東京定期演奏会に登場した。エルガーの威風堂々や交響曲第2番を取り上げて、古くからの多くの山田ファンを魅了した。

過去に客演で好評を博したフランソワ・ルルーが久しぶりに11月の東京定期に登場、メンデルスゾーンの「無言歌集」では自らが演奏、指揮も行いファンの大喝采を浴びた。

ただ残念だったことは、6月の東京定期演奏会に出演予定であった秋山和慶が日本フィルとの共演が叶わぬまま、今年1月に不慮の事故で亡くなられたことである。日本のクラシック音楽界にとっても大きな痛手であった。

◆「被災地に音楽を」などの社会性活動はさらに深化

東日本大震災の被災地に音楽を届ける支援活動は14年間で350回を超えた。岩手県に続き福島県とも包括連携協定を結び、県の予算措置も得て吹奏楽アカデミーの指導、また6年前から始まった「東北の夢プロジェクト」は、昨年度に実行委員会を立ち上げて実施した盛岡市と、福島県では前年に引き続き郡山市のホールで演奏会を実施した。

それ以外でも、岩手県宮古市、宮城県石巻市、福島県南相馬市でも演奏会を実施した。

また避難指示が解除された福島県双葉町では、町の復興を支援する福島県、地元企業や個人の皆様とも協働して音楽を通じた地域再生活動を通算3回実施した。

締結30年を迎えた杉並区との協働はさらに一步進んだ。本拠地、杉並公会堂に加えて改装オープンしたセシオン杉並を会場にして、ワークショップなど子供たちが音楽を身近に親しむための室内楽、アウトリーチ活動や、高齢者が楽器指導を気軽に体験できる機会を提供し、区内の皆様との音楽を通じた連携活動は一層充実させることができた。

日本フィルにとって“音楽家に何が出来るか”を自らに問い続け、オーケストラができる社会性活動は確実に新たな次元に進むことができた。

◆ 最終損益は前期の赤字から収支均衡するまでに回復

財政の実績については、後述の「2024年度財政の総括」に記したので、ここでは概略のみに留める。

結論から述べると、2024年度の決算は前年度から大幅に改善し、実質、最終損益は収支均衡のレベルまで回復した。

民間財団の助成を糧に進めた地域支援の大口プロジェクトがもたらした成果や、入場料収入の大幅増加、また助成金、大口寄付金の増えたことなどが奏功した。

2. 2024年度 財務内容の実績

◆ 最終損益は実質的には収支均衡まで戻ったが……

演奏会収入については、受託料収入で苦戦したものの、来場者数が目に見えて回復し、特に自らで稼ぎだす入場料収入は前年比大幅な増加となった。

ただ、長年の課題である定期会員の回復は遅々としたままで、かつ昨今の諸経費高騰や円安も影響して、事業費の削減が進まなかったが、民間助成金や大口寄附金等が大き

く寄与し、最終損益はほぼ黒字に近い収支均衡レベルまでは戻った。

しかしながら、楽団財務の基本構造が改善するまでには至らず、一過性である大口寄附金に依存した現在の財務運営に限界があることを感じさせる決算であった。

◆ 正味財産は、引き続き、安定的に維持…

2024年度末時点で一般正味財産は79百万円、指定正味財産は190百万円となり、正味財産は、引き続き、安定的に維持することができた。なお、今年度受領した大口寄附金から指定正味財産に40百万円を繰り入れた結果、“指定正味財産”は40百万円増加し、一般と指定を合わせた正味財産の残高は269百万と前年度比33百万円増加した。

また今年度から、将来実施する公益目的事業の経費として、特定費用準備資金として3口合計160百万円を積み立て、特定資産勘定に計上した。

◆ 借入金の削減を進め、体質改善は進んだ…

借入金残高は、コロナ発生時に銀行から借りた緊急融資を完済し、借入金残高がピークになった2020年度に比べると約1億円減少した。この4年間は、純増となる新たな借入を発生させることなく財務運営を行った結果、借金体質の改善は着実に進んだ。

ただ、2023年度決算で発生した赤字が2024年度の資金繰りに影響を及ぼしたことを考慮すると、現在の手元資金が十分確保されているとは言え、2026年度の70周年事業まで展望して、2025年度の資金繰りを十分注視していく必要がある。

<第二部> 2024年度事業

1. オーケストラ・コンサートの実施状況

2024年度に優れた芸術作品の優れた表現者としての存在感を示したカーチュン・ウォンとのマーラーを始めとする多彩なプログラミングや新たな広上淳一とのオペラ(2025年4月)取り組みへの準備をはじめ、幅広いレパートリーの維持と拡大を図った。

良質な作品の上演を通して、「日本フィルらしさ」を表現し、お客様にも満足度の高い演奏会を提供することができた。また、ウォンの聴衆に新鮮な感動を呼び起こす演奏は急速に評価を高めている。2024年度も引き続き、「カーチュン×日本フィル」の魅力発信を軸に、日本フィルならではの個性を発揮して定期演奏会の聴衆増強に努めた。また日本フィルと強い絆の桂冠名誉指揮者小林研一郎、フレンド・オブ・JPO広上淳一をはじめ、山田和樹、大植英次といった内外の著名かつ優れた指揮者たちとの共演を通して、優れた芸術作品をバラエティ豊かにお届けできた。

また、芸術文化の普及にも積極的に関わり、音楽を必要とする人々へのアプローチの発展可能性を模索し、「社会課題への取り組み」の実践も進めることができた。こうした活動を通じて新しいオーケストラ像を積極的に模索していく。

【2024年度の実施事業：<第三部：資料編>に掲載】

2. エデュケーション・プログラムの実施状況

50周年を迎えた夏休みコンサートでは、これを記念するファンファーレを委嘱初演、また来場者にノベルティを配布するなどして感謝の意を表した。ロビーでのウエルカム・コンサートや終演後のサイン会、懇談会といったイベントも好評で、音楽家との交流が子どもの心に響くことを再認識した。メルマガ会員の増強を図り600人の入会を得て、未来へ向けて新たな形での集客施策も順調に行った。

また、5月に例年開催している京都での「小学生からのクラシック・コンサート」も継続した。

杉並区で20年以上継続する「60歳からの楽器教室」は、西荻地域区民センターとの5年目となる共同主催事業として、また2024年度からは新たにセシオン杉並との共催事業として実施した。管楽器のクラリネットクラスも再開した。

マイケル・スペンサー氏とは、2024年度をもってコミュニケーション・ディレクターの契約を満了した。ワークショップ「オケのテイキは、面白い」を、伊波睦(ポンくん)のファシリテートにより実施、コンサートの楽しみを広げる企画として継続した。

【2024年度の主な実施事業】

① オーケストラによるエデュケーション・プログラム

- ・「夏休みコンサート」
- ・杉並公会堂「春休みオーケストラ探検」 ※関連イベントの復活
- ・「小学生からのクラシック・コンサート」(京都市内)
- ・「文化庁巡回公演」
- ・「杉並区小中学校音楽鑑賞会」

② 室内楽、その他によるエデュケーション・プログラム

- ・オーケストラ公演との連携企画「オケのテイキは、おもしろい」(ワークショップ)
- ・自治体との連携:杉並区小中学校出張コンサート、さいたまプライマリーコンサート

3. リージョナル・アクティビティの実施状況

温かさ、人に寄り添う、を特徴とした日本フィルならではのプログラムを活用し、地域を音楽で豊かに活気あるものにし、課題解決に寄与する活動はますますその需要が高まっており、社会の要請にこたえる活動を行った。自治体との連携では、クリニックなどを中心に那須塩原でも活動した。企業との連携では、フコク生命主催全国チャリティコンサートの

継続を 2023年度も開催した(三重)。

また、拠点である杉並区とは、2024 年度に友好提携の覚書締結から 30 年を迎えた。行政、区民との連携活動が一層充実している。

【2024 年度の主な実施事業】

1. 杉並区での活動

杉並区とは 11 月に友好提携30周年記念演奏会「わくわくクラシック」を共同主催により実施した。杉並区・杉並公会堂・日本フィル3者の実行委員会で主催する杉並公会堂シリーズは、平日昼公演開催の取組も進み、6公演が好調に行われた。2025年度からは「杉並定期演奏会」に改称して継続している。

杉並公会堂ではこのほかの夏休みコンサート、春休みオーケストラ探検(日本フィル主催)も充実した内容で行った。改装オープンしたセッション杉並ではワークショップや「60歳からの楽器教室」を開始。西荻地域区民センターとの協働により実施している 60歳からの楽器教室も継続開催した。

この他に区役所ロビーコンサート、杉並出張(室内楽)、公開リハーサルを実施、成人式や敬老会での演奏も行った。

2. 九州公演

九州公演は、自主参加の市民による実行委員会がボランティアで日本フィルとともにオーケストラ公演の制作・運営を行うという、世界でも類を見ない運営スタイルで継続している。九州における地域と楽団との交流は地道な努力の積み重ねで継続しており、昨年度からは大牟田市において市との友好連携提携が実現するなど、地域との結びつきはより確かな形を見せつつある。

2025年は九州公演が50年の節目を迎えた。首席指揮者カーチュン・ウォンが初登場、引き続き文化庁「劇場・音楽堂等活性化事業(劇場・音楽堂等間ネットワーク支援構

築事業)」の助成を受け、また各地実行委員会の総意により、通常の公演を全県9都市の実行委員会と協働して実施し、各地で完売が続出するなど大きな反響と演奏の手ごたえを得た。今後も長年培った地域との絆を礎に、引き続き九州の文化振興のために、より緊密なコミュニケーションと連携を深めたい。

3. 宇部公演

「宇部興産チャリティコンサート」は、毎年恒例の UBE 株式会社(旧宇部興産)の地域貢献活動として着実に定着し、17回目となった。

キャッチフレーズを「市民とともに、音楽とともに」とし、次世代音楽文化振興事業として「子どもたちの教育」に視点を置き、前年度に引き続き、宇部市・山陽小野田市・美祢市の小中学生 240名を無料ご招待した。本公演前日は山口大学医学部附属病院での弦楽四重奏「ふれあいコンサート」、および宇部市立中学校吹奏楽部への「音楽クリニック(主催：(公財)渡辺翁記念文化協会)」を開催。5年ぶりの対面開催となったクリニックは48名が参加した。

4. 「被災地に音楽を」(被災地におけるリージョナル・アクティビティ)と「東北の夢プロジェクト」

東日本大震災から14年目となり、「被災地に音楽を」の活動は2024年度までで延べ360回となった。2023年度に開始した福島県双葉町と岩手県陸前高田市、そして震災後に活動を続けてきた福島県南相馬市に室内楽で訪問した。

陸前高田市では、地元中学の吹奏楽部やコーラス団体と連携してコンサートを開催するなど、地域との一体感を作り出すことができた。

福島県双葉町は原発事故による避難指示解除から2年が経過したが、人口の回復はまだまだ進まない中、浅野燃糸の工場内でのコンサートを実施、初めて町長が来場するなど、地域との連携は進んでいる。

また、2023年連携協定を結んだ岩手県に続き、2024年度は福島県と「包括連携協定」

を結び、福島県の予算措置により会津若松市吹奏楽アカデミーの指導、東日本大震災追悼復興祈念式に正式招聘され、演奏を提供した。

2019年開始した「東北の夢プロジェクト」では、協定を結ぶ岩手県の盛岡市と福島県の郡山市で本公演を実施、また岩手県宮古市、宮城県石巻市、福島県南相馬市で共演団体との事前交流事業を実施した。また新規の事業として、東北地方沿岸の文化施設と共同で有料のオーケストラ公演を開催する「明日へ響け！オーケストラ」を初めて南相馬市民文化会館で実施し、ファミリー向けの2公演を開催した。

被災地におけるこれらの活動では、2023年度から2025年度まで採択を受けた「新たなオーケストラ支援事業」の助成金を活用している。

5. 音楽の楽しみを深め、広げる活動(「温かさ」+「新たな挑戦」)

日本フィルの特徴である「温かさ、人に寄り添う」を活かした活動は、コロナ禍による休止から徐々に復活されている。音楽の持つ楽しみをより多くの方に広め、また、聴き手の皆様により深く音楽を楽しんで頂くよう工夫した。

音楽を必要とする人々への取り組みとして行ってきた主催公演での託児サポート、夏休みコンサートの「こんだん会」、ハンディキャップを持つ方のための割引や若い世代への割引料金の設定、演奏会場でのプレトーク、アフタートーク等も継続した。九州公演ではサイン会(一部公演)や楽員による「お見送り」、実行委員との交流会も盛況であった。

6. コンテンツ・音源事業並びに物品販売

・テレビマンユニオンでのライブ映像配信

コンサートに来られない方のため、コロナ禍より開始したライブ・アーカイブ配信、定着したものの視聴数は伸び悩み傾向である。

・オリジナル CD(公益事業)

コンサート会場に来られない方々にも演奏を届けるために行っている CD 等の録音物の制作と販売、普及事業を継続した。

オリジナルレーベル「JPRECORDINGS」による CD 制作および配信事業は、東京定期演奏会よりシベリウス：クレルヴォ、R. シュトラウス：ホルン協奏曲第2番(配信のみ)、夏休みコンサート、九州公演に向けた 2 タイトルを新規リリースした。九州公演に向けての新制作アイテム「マルケヴィッチ：展覧会の絵ほか」はレコード芸術推薦盤に選定されるなど、レーベルの認知と評価は定着しつつある。

ライブ演奏の音源／映像の2次使用については、「コスモプラネタリウム渋谷」との共同企画・商業音源提供によるオリジナル番組(2022年10月～)が現在も各地で継続的に活用されている。今後も実演に次ぐ演奏コンテンツの積極的活用を進めたい。

・グッズ(収益事業)

サンリオとのコラボレーション、雨田光弘氏による T シャツ、カレンダーなどは強い固定ファンに支えられている。

【2024年度の制作アイテム】

演奏会のライブ録音 CD／配信「JPO RECORDINGS レーベル」計3点、オリジナルTシャツ、オリジナルカレンダー(全国カレンダー展入選)。配信 84タイトル(2024年度新規4タイトル)。

7. 演奏に必要な調査・研究

・アンケート調査の実施

演奏活動や運営のための資料として、オンラインによる来場者アンケートを定例的に実施するほか、夏休みコンサートや落合陽一×日本フィルプロジェクトでは聴衆を対象とした Web アンケート調査を実施した。また、横浜定期演奏会の開園時間変更

検討に伴う会員アンケート調査を実施した。

- ・音楽文化関係資料の収集

演奏活動や、その運営のために必要な調査研究資料として、音楽・文化に関する図書・CD等を数十点購入した。

- ・演奏音源活用のための調査研究：

著作隣接権等、演奏家の権利保護や音源活用のために必要な権利処理を進めた。

- ・その他：

公益事業を継続、発展させるために必要な調査研究を継続的に行った。

8. 情報発信

公益財団法人として必要な情報の社会的開示に努めるとともに、活動報告（「こんな活動をしています」）や「被災地に音楽を」等の個別レポートにより、支援を頂いている個人・法人・団体などへの活動報告を積極的に行い、公益性と活動の意義を発信した。

広報宣伝の媒体としては、年間ラインアップ、チラシ、リーフレットといった紙媒体のほか、ポスター掲示、新聞広告を継続。メールマガジン「日本フィル NEWS」のほか、SNSではX、LINEに加えInstagramの運用も開始した。web 広告も積極活用している。

音楽評論家奥田佳道氏、評議員村上典吏子氏の多大な協力のもと、2022年7月に開始したYouTubeでの「5分でわかる！大人のためのオーケストラ入門」は、Youtubeの視聴傾向を踏まえ2024年7月「2分でわかる！」に再編して継続、同時期に開始したInstagramとXでも視聴可能としたことで定期演奏会をはじめとする主催公演の曲目について奥深い面白さを伝える工夫をこらした。

また、クラウドファンディング（落合陽一×日本フィルプロジェクト）の繋がり等によって、社会的取り組みを単にクラシックファンに留まらない多様な層に届ける機会が広がった。

9. サポートシステム

特定の大スポンサーを持たない日本フィルだが、2024年度も楽団に対するサポートは堅調に推移した。2024年度は新たに遺贈のシステム整備に向けての検討を開始した。

当団を支える法人・個人の支援システムは以下のとおりである。

法人： 特別会員(寄付会員)、個別公演に対する協賛、楽団に対する包括的な協賛

個人： パトロネージュ(寄付会員)、日本フィル協会(寄付会員)、

サポーターズクラブ(会員)、 オンライン寄付(小口)

＜第三部＞ 資料編

資料1 各事業の総括

オーケストラ・コンサート 主催公演各事業

● 東京定期演奏会(サントリーホール、金曜日/土曜日 2 回公演)

数ある日本フィルの公演の中でも東京定期は最も芸術性を追い求めるよう位置づけられたシリーズである。首席指揮者カーチュン・ウォンとの取り組みに対する評価は非常に高く、特にマーラーの演奏では完売するなど芸術面・財政面の両方で大きな成果を得ることができた。充実した指揮者陣のほか、多忙を極める日本人指揮者山田和樹が日本の楽団に登場する非常に貴重な機会である。いっぽう、怪我による秋山和慶氏の降板と、妊娠によって沖澤のどか氏との共演が実現できなかったのは予定外であった。特に秋山氏のご逝去により再び共演の機会を設けることができなくなってしまったことは痛恨である。

2024 年度も、SNS や動画配信を通じて、リハーサル様子やアーティストへのインタビュー、企画担当者による解説などを聴衆に伝え、良い意味での親しみやすく敷居の低い定期演奏会の雰囲気醸成を努めた。Web を活用した解説動画の配信や 2026 年の楽団創立 70 周年を視野に入れた長期スパンにわたるキャンペーンを通じて、顧客の繋ぎ止めと新規開拓を進めてゆく。

第 758 回 指揮:アレクサンダー・リープライヒ 独奏:辻彩奈(Vn)

三善晃:魁響の譜、シマノフスキ:ヴァイオリン協奏曲第 1 番、シューマン:交響曲第 3 番《ライン》

第 759 回 2024 年 4 月 12 日(金)、13 日(土) 指揮:下野竜也

シューベルト:交響曲第 3 番 ブルックナー:交響曲第 3 番(1877 年第 2 稿ノヴァーク版)

第 760 回 2024 年 5 月 10 日(金)、11 日(土) 指揮:カーチュン・ウォン

マーラー:交響曲第 9 番

第 761 回 2024 年 6 月 7 日(金)、8 日(土) 指揮:大植英次 ソリスト:信末碩才

ベルク:管弦楽のための 3 つの小品 R.シュトラウス:ホルン協奏曲第 2 番 ドヴォルザーク:交響曲第 7 番

第 762 回 2024 年 7 月 12 日(金)、13 日(土) 指揮:広上淳一 ヴァイオリン:米元響子

リゲティ:ヴァイオリン協奏曲 シューベルト:交響曲第 8 番《ザ・グレート》

第 763 回 2024 年 9 月 6 日(金)、7 日(土) 指揮:カーチュン・ウォン

ブルックナー:交響曲第 9 番

第 764 回 2024 年 10 月 18 日(金)、19 日(土) 指揮:小林研一郎 ピアノ:高木竜馬

ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第 2 番 ブラームス:交響曲第 1 番

第 765 回 2024 年 11 月 1 日(金)、2 日(土) 指揮:オーボエ:フランソワ・ルルー

ラフ:シンフォニエッタ メンデルスゾーン (タルクマン編曲):「無言歌集」より

メンデルスゾーン:交響曲第 3 番《スコットランド》

第 766 回 2024 年 11 月 29 日(金)、30 日(土) 指揮:パヴェル・カプワ ピアノ:セドリック・ティベルギアン

ブラームス:ピアノ協奏曲第 2 番 シューマン:交響曲第 2 番

第 767 回 2025 年 1 月 17 日(金)、18 日(土) 指揮:山田和樹 ヴァイオリン:周防亮介

エルガー:行進曲《威風堂々》第 1 番 ヴォーン=ウィリアムズ:揚げひばり エルガー:交響曲第 2 番

第 768 回 2025 年 3 月 7 日(金)、8 日(土) 指揮:カーチュン・ウォン

ソプラノ:吉田珠代 アルト:清水華澄 合唱:東京音楽大学

マーラー:交響曲第 2 番《復活》

● 横浜定期演奏会(横浜みなとみらいホール)

東京定期演奏会と並んで日本フィルの芸術的活動の一翼を担う横浜定期演奏会。人気スポットみなとみらい地区における夕方5時開演のコンサートとして、若い世代からシニア層にまで足を運んで頂けるよう、「弾き振り」横山幸雄による人気のショパンの特集(4月)やベートーヴェンが遺した永遠の傑作《皇帝》&《田園》(6月)、毎年恒例の第九演奏会(12月)、ジャズの巨匠 M.ルグラン作品(1月)などクラシック音楽初心者に対しても門戸を開いたプログラム作りを目指した(5月)は感慨深い公演となった。

このほか日本フィルの桂冠名誉指揮者小林研一郎と現代ロシア最高のピアニスト エリソ・ヴィルサラゼとの共演(6月)、若き首席指揮者カーチュン・ウォンと大家ゲルハルト・オピッツとの共演(9月)など、名声や知名度でなく、一期一会と唯一無二が組み合わさった特別な時間を提供した。

引き続き開演前の学識者によるプレトークも実施し、よりわかりやすいコンサートづくりに努め、1月と7月の回の終演後には、来場者とオーケストラメンバーや指揮者、ソリストが集う懇親会「シーズン・ファイナル・パーティ」もロビーで実施した。新型コロナウイルス蔓延前の最盛期には 1500 名以上を数えた会員が、現在では 1000 名弱にまで減少してしまっている。安定した財源確保のためにも、また活気あるコンサート作りのためにも、そのベースとなる会員の確保はオーケストラにとって必須の課題である。再び舞台と客席の絆を取り戻し、オーケストラの存在をより一層近いものとして感じて頂けるような、愛される「定期演奏会」を目指し、集客上の成果は徐々に上がっている。

第 396 回 2024 年 4 月 27 日(土) 指揮・ピアノ:横山幸雄

ショパン:《ドン・ジョヴァンニ》のお手をどうぞの主題による変奏曲、アンダンテ・スピアナートと華麗なる大ポロネーズ、ピアノ協奏曲第 2 番

第 397 回 2024 年 5 月 18 日(土) 指揮:井上道義、チェロ:佐藤晴真

シヨスタコーヴィチ:チェロ協奏曲第 2 番、交響曲第 10 番

第 398 回 2024 年 6 月 15 日(土) 指揮:小林研一郎 ピアノ:エリソ・ヴィルサラゼ

ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第 5 番《皇帝》、交響曲第 6 番《田園》

第 399 回 2024 年 7 月 7 日(日) 指揮:鈴木優人 サクソフォン:上野耕平

ピアソラ(編曲:啼鵬):エスクアロ(鮫)、オブビリオン(忘却)、リベルタンゴ

ベートーヴェン:交響曲第 7 番

第400回 2024年9月21日(土) 指揮:カーチュン・ウォン ピアノ:ゲルハルト・オピッツ

ブラームス:ピアノ協奏曲第2番 チャイコフスキー:交響曲第4番

第401回 2024年10月5日(土) 指揮:出口大地 チェロ:鳥羽咲音

ハチャトゥリアン:バレエ音楽《スパルタクス》より「スパルタクスとフリーギアのアダージョ」

カバレフスキー:組曲《道化師》、チャイコフスキー:ロココ風の主題による変奏曲

ムソルグスキー(ラヴェル編曲):組曲《展覧会の絵》

第402回 2024年11月23日(土) 指揮:ピエタリ・インキネン ヴァイオリン:神尾真由子

グラズノフ:ヴァイオリン協奏曲 R.シュトラウス:アルプス交響曲

第403回 2024年12月21日(土) 指揮:下野竜也

ソプラノ:富平安希子 アルト:小泉詠子 テノール:糸賀修平 バリトン:宮本益光 合唱:東京音楽大学

ニコライ:歌劇《ウィンザーの陽気な女房たち》序曲 ベートーヴェン:交響曲第9番《合唱》

第404回 2025年1月25日(土) 指揮:藤岡幸夫 フルート:Cocomi

武満徹:組曲《波の盆》 モーツァルト:フルート協奏曲第2番 ルグラン:交響組曲《シェルプールの雨傘》

第405回 2025年3月22日(土) 指揮:小林研一郎 ヴァイオリン:中野りな

チャイコフスキー:ヴァイオリン協奏曲 リムスキー=ニコルサコフ:交響組曲《シェエラザード》

● 夏休みコンサート

50周年を迎えた夏休みコンサートは、昨年同様、コンサートでは第2部をバレエとした回とピアノをメインに据えた回の2つのヴァージョンを制作するほか、「エデュケーション」で後述の通り、記念のファンファーレや感謝のプロモーションなどを行った。

集客についても好調となった。

● その他の演奏会(首都圏)

ローム株式会社ならびにローム ミュージック ファンデーションから多大なサポートを頂いている桂冠名誉指揮者小林研一郎氏との「コバケン・ワールド」を今年度も実施。第4回となった「コバケン・ワールド in KYOTO」と併せて、無事、好評のうちに全4公演を終えることが出来た。

「第九特別演奏会」も、改修工事による東京芸術劇場の使用が出来ない点は非常に手痛かったが、他のホールを使用することで回数は例年通りフォローすることが出来た。

他にも「名曲コンサート」、「芸劇シリーズ」、そして「特別演奏会」等での公演も、プロフェッショナルのオーケストラとして担うべき大きな役割の一つである「クラシック音楽の普及」にしっかりと取り組むことが出来た。

● 九州公演

2024年度に50周年を迎え、指揮にカーチュン・ウォンの初登場、ソリストに宮田大(チェロ)、仲道郁代(ピアノ)を迎えた。演奏に高い評価を得、また「リージョナル・アクティビティ」項で記載の通り、九州全県での市民と一体となった取組としても好評裡に全公演を終えることができた。

●宇部公演

17回目となった宇部公演。今回は指揮者に大井剛史、ソロにフルートの高木綾子を迎えて、モーツァルトの協奏曲とオペラ等の小品集というプログラムを実施した。リージョナル・アクティビティとして地域貢献活動も着実に遂行した。

●＜落合陽一×日本フィル プロジェクト VOL.8《変幻する音楽会》＞

「テクノロジーによってオーケストラを再構築する」というテーマのもと、2018年から継続している本プロジェクトは、メディア・アーティスト落合陽一の演出によってオーケストラの新たな魅力と価値を広げるとともに、「耳だけで聞かない」ことをモットーに、聴覚と触覚や視覚などの分断を廃し、人間の五感の共感的な「身体性」を演出する数々の取り組みを重ねてきた。従来の取組とともに、「日本博 2.0」の2年目となる助成を得、藤倉大の委嘱による日本文化との共同やサテライト公演を実施。日本文化では「佐渡の鬼太鼓」を取り上げ、日本フィル、佐渡市との共催、また企業等の多彩な協賛・協力を得、本公演およびサテライト公演（佐渡、那覇）を実施。

アンケートでは、例年に引き続き、公演満足度が極めて高い結果を得た。またクラウドファンディングも2回実施、700万円を超える支援をいただいた。

● その他の主な共催事業

・相模原定期演奏会

2024年度は、9月に原田慶太楼とヴァイオリンの吉本梨乃によるユニークなプロ、12月には下野竜也とピアノと伊藤恵によるベートーヴェン・プロという内容をお届けした。近年は隣接していたデパートの閉店と、それに伴う工事のため、ホールへのアクセスが悪化し、またコロナの影響もあり、メイン層だった高齢者の来場数が格段に落ち込んでおり、この改善は大きな課題である。我々自身がホールとも連携し、相模原定期演奏会の持つ価値を改めて認識し、地元の文化振興に寄与できるよう、努めてゆきたい。

・さいたま定期演奏会

長期改修工事に伴う閉館によって受けた集客面の影響は未だ色濃い。ただ今後も共催相手である埼玉県産業文化センターと連携し、埼玉県での日本フィルファンの拡大など、埼玉ならではの視点に基づいたビギナーにも優しいプログラム作りにつとめてゆく。

・にじクラ〜トークと笑顔と、音楽と

サントリーホールとの共催による「とっておきアフタヌーン」から2023年よりブランド・リニューアル。俳優の高橋克典を司会に迎え、オルガン・プレコンサートを含む2時間プログラムと出演者のトークはそのままに、年齢ターゲットを撤廃したブランドリニューアルが功を奏し、2024年度は3公演中2回が完売、セット券の販売も伸びるなど好調が定着しつつある。

資料2. 2024年度公演事業一覧

- ▲ 2024年4月1日 サントリー入社式／サントリーホール大ホール
指揮：広上淳一
エルガー：行進曲《威風堂々》第1番（夏休みコンサート版）、シューマン：交響曲第3番《ライン》より第1楽章、
ブラームス：交響曲第1番より第4楽章
- ▲ 2024年4月4日 周防亮介の協奏曲／サントリーホール大ホール
指揮：渡邊一正 ヴァイオリン：周防亮介
パガニーニ：ヴァイオリン協奏曲第1番、ブルッフ：ヴァイオリン協奏曲第1番、シベリウス：ヴァイオリン協奏曲
- 2024年12,13日 第759回東京定期演奏会／サントリーホール大ホール
指揮：下野竜也
シューベルト：交響曲第3番、ブルックナー：交響曲第3番（1877年第2稿ノヴァーク版）
- 2024年4月20日 明日へ響け！オーケストラ・コンサート2024in南相馬＜子育て支援コンサート＞
指揮：永峰大輔 MC：江原陽子
エルガー：行進曲《威風堂々》第1番（夏休みコンサート版）、アンダーソン：プリंक・プレंक・プランク、
アンダーソン：フィドル・ファドル、チャイコフスキー：バレエ組曲《くるみ割り人形》
- 2024年4月20日 明日へ響け！オーケストラ・コンサート2024in南相馬
＜小学生から楽しむコンサート＞指揮：永峰大輔 MC：石井あみ
モーツァルト：歌劇《魔笛》序曲、アンダーソン：プリंक・プレंक・プランク、ハチャトゥリアン：《仮面舞踏会》
よりワルツ、アンダーソン：フィドル・ファドル、エルガー：行進曲《威風堂々》第1番（夏休みコンサート版）、
マスカーニ：歌劇《カヴァレリア・ルスティカーナ》より間奏曲、チャイコフスキー：バレエ組曲《くるみ割り人形》
- 2024年4月27日 第396回横浜定期演奏会／横浜みなとみらいホール
- 2024年4月28日 第254回芸劇シリーズ／東京芸術劇場コンサートホール
指揮・ピアノ（弾き振り）：横山幸雄
ショパン：《ドン・ジョヴァンニ》の「お手をどうぞ」の主題による変奏曲、ショパン：アンダンテスピアノと
華麗なる大ボロネーズ、ショパン：ピアノ協奏曲第2番
- ★ 2024年5月2日 にじくら第4回／サントリーホール大ホール
指揮：太田弦 ピアノ：上原彩子 MC：高橋克典
チャイコフスキー：ピアノ協奏曲第3番、チャイコフスキー（上原彩子編）：くるみ割り人形より「花のワルツ」、
モーツァルト：交響曲第41番《ジュピター》
- 2024年5月6日 小学生からのクラシックコンサート／ロームシアター京都サウスホール
指揮：海老原光 MC：江原陽子
グリーグ：組曲《ペール・ギュント》第1話、第2話（第1幕前奏曲「婚礼の場にて」／イングリッドの嘆き／山の
魔王の宮殿にて／オーゼの死／朝／アラビアの踊り／アニトラの踊り／ペール・ギュントの帰郷／
第5幕「夜の情景」（冒頭）／ソルヴェイグの歌／「婚礼の場」一部リフレイン）
- 2024年5月10,11日 第760回東京定期演奏会／サントリーホール大ホール
指揮：カーチン・ウォン マラー：交響曲第9番
- ★ 2024年5月17日 第143回さいたま定期演奏会／大宮ソニックシティ大ホール
- 2024年5月18日 第397回横浜定期演奏会／横浜みなとみらいホール
指揮：井上道義 チェロ：佐藤晴真
ショスタコーヴィチ：チェロ協奏曲第2番、ショスタコーヴィチ：交響曲第10番
- 2024年5月25日 特別演奏会／昭和女子大学人見記念講堂
- 2024年5月26日 第404回名曲コンサート／サントリーホール大ホール
指揮：カーチン・ウォン ピアノ：小菅優
ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番、チャイコフスキー：交響曲第5番
- ▲ 2024年6月1日 ジョン・ウィリアムズ：フルオーケストラコンサート／NHKホール
指揮：佐々木新平 ヴァイオリン：鈴木舞 MC：グローバー
《スーパーマン》より「スーパーマン・マーチ」、《J. F. K.》組曲より「J. F. K.のテーマ」、《ジョーズ》組曲より
「シャーク・テーマ」、《フック》より「ネバーランドへの飛行」、《シンドラーのリスト》から3つの小品より「追憶」、
《SAYURI (Memoirs Of a Geisha)》より「さゆりのテーマ」、《E. T.》より「地上の冒険」、《ジュラシック・
パーク》より「テーマ」、《スター・ウォーズ》組曲より第2曲「レイア姫のテーマ」、組曲《スター・ウォーズ・サガ》
より第1曲「小惑星の原野」、《未知との遭遇》より、《ハリー・ポッターと賢者の石》子どものための組曲より第1
曲「ヘドウィグの飛行」、《ハリー・ポッターと賢者の石》子どものための組曲より第9曲「ハリーの不思議な世
界」、《レイダース 失われたアーク〈聖櫃〉》より「レイダース・マーチ」、《スター・ウォーズ》組曲より第5曲「王

- 座の間とエンド・タイトル」
- 2024 年 6 月 2 日 第255回芸劇シリーズ／東京芸術劇場コンサートホール
指揮：カーチュン・ウォン 箏：遠藤千晶 ピアノ：中野翔太 合唱：東京音楽大学 監修：小沼純一
ドビュッシー：《夜想曲》、坂本龍一：箏とオーケストラのための協奏曲、坂本龍一：映画『ラスト・エンペラー』より「メインテーマ」、武満徹：組曲《波の盆》より「フィナーレ」、
坂本龍一：地中海のテーマ(1992年バルセロナ五輪開会式)、
 - 2024 年 6 月 7,8 日 第761回東京定期演奏会／サントリーホール大ホール
指揮：大植英次 ホルン：信末碩才
ベルク：管弦楽のための3つの小品(リア編曲室内アンサンブル版)、R. シュトラウス：ホルン協奏曲第2番、
ドヴォルジャーク：交響曲第7番
 - 2024 年 6 月 15 日 第398回横浜定期演奏会／横浜みなとみらいホール
 - 2024 年 6 月 16 日 第405回名曲コンサート／サントリーホール大ホール
指揮：小林研一郎 ピアノ：エリソ・ヴィルサラゼ
 - ▲ 2024 年 6 月 18 日 杉並音楽鑑賞教室【小学校】＊無観客配信／セシオン杉並
指揮：阿部未来
ビゼー：歌劇《カルメン》より「闘牛士の行進」、楽器紹介、グリーグ：劇音楽《ペール・ギュント》より「山の魔王の宮殿にて」、マスカーニ：歌劇《カヴァレリア・ルスティカーナ》より間奏曲、ベートーヴェン：交響曲第5番《運命》より第1楽章
 - ▲▲ 2024 年 6 月 19 日 杉並音楽鑑賞教室【中学校】／セシオン杉並
 - ▲▲ 2024 年 6 月 20 日 指揮：阿部未来 テノール：濱松孝行
 - ▲▲ 2024 年 6 月 21 日 ビゼー：歌劇《カルメン》より「闘牛士の行進」、ビゼー：歌劇《カルメン》より間奏曲、
ヴェルディ：歌劇《リゴレット》より「女心のうた」、プッチーニ：歌劇《トゥーランドット》より「誰も寝てはならぬ」、
カジノユキ編：オーケストラで聴く日本の名曲「春夏秋冬」、チャイコフスキー：組曲《くるみ割り人形》より
「花のワルツ」、ベートーヴェン：交響曲第7番より第4楽章
 - ▲▲ 2024 年 6 月 24,25 日
千住真理子デビュー50周年記念レコーディング／和光市民文化センター・サンアゼリア
指揮：岩村力 ヴァイオリン：千住真理子
チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲、メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲
 - ▲ 2024 年 6 月 30 日 がん患者さんが歌う第九／東京オペラシティ
指揮：藤岡幸夫 合唱：がん患者さんが歌う第九合唱団、MC：笠井信輔 ソプラノ：小林沙羅
アルト：石田滉 テノール：錦織健 バリトン：宮本益光
前半：対談(オケなし)、ベートーヴェン：交響曲第9番《合唱》
 - ★ 2024 年 7 月 6 日 第144回さいたま定期演奏会／大宮ソニックシティ大ホール
 - 2024 年 7 月 7 日 第399回横浜定期演奏会／横浜みなとみらいホール
指揮：鈴木優人 サクソフォン：上野耕平
トマジ：バラード、ピアソラ(啼鵬編曲)：エスクアロ(鮫)、ピアソラ(啼鵬編曲)：オブリビオン(忘却)、
ピアソラ(啼鵬編曲)：リベルタンゴ、ベートーヴェン：交響曲第7番
 - 2024 年 7 月 12,13 日 第762回東京定期演奏会／サントリーホール大ホール
指揮：広上淳一 ヴァイオリン：米元響子
リゲティ：ヴァイオリン協奏曲、シューベルト：交響曲第8番《ザ・グレート》

第50回夏休みコンサート 2024

- 2024 年 7 月 19 日 相模女子大学グリーンホール
 - 2024 年 7 月 20 日 東京芸術劇場コンサートホール
 - 2024 年 7 月 21 日 サントリーホール大ホール
 - 2024 年 7 月 23 日 ロームシアター京都メインホール
 - 2024 年 7 月 25 日 森のホール 21(松戸)
 - 2024 年 7 月 27 日 大宮ソニックシティ大ホール
 - 2024 年 7 月 28 日 横浜みなとみらいホール
 - 2024 年 7 月 30 日 ウェスタ川越
 - 2024 年 7 月 31 日 江戸川区総合文化センター
- 指揮：梅田俊明 お話とうた：江原陽子 出演：スターダンサーズ・バレエ団 振付・演出：鈴木稔
【第1部】信長貴富：夏休みコンサート50回記念《音楽のとびら》～管弦楽のためのファンファーレ～、
アンダーソン：舞踏会の美女、エルガー：愛の挨拶、ホルスト：組曲《惑星》より「木星」(夏休みコンサート版)
【第2部】チャイコフスキー：バレエ《くるみ割り人形》(夏休みコンサートオリジナル版)

- 【第3部】久石譲(和田薫編):さんぽ、岡野貞一(和田薫編):ふるさと、馬飼野康二(和田薫編):勇気100%
 ●●2024年8月2日 サントリーホール大ホール
 ●●2024年8月3日 横浜みなとみらいホール
 ●●2024年8月6日 東京芸術劇場コンサートホール
 指揮:永峰大輔 ピアノ:上原彩子 お話とうた:江原陽子
 【第1部】信長貴富:夏休みコンサート50回記念《音楽のとびら》～管弦楽のためのファンファーレ～、
 アンダーソン:舞踏会の美女、エルガー:愛の挨拶、ホルスト:組曲《惑星》より「木星」(夏休みコンサート版)
 【第2部】バッハ:メヌエット、ショパン:幻想即興曲、ドビュッシー:「子供の領分」より
 ゴリウオーグのケーキウォーク、ガーシュウィン:ラプソディ・イン・ブルー
 【第3部】久石譲(和田薫編):さんぽ、岡野貞一(和田薫編):ふるさと、馬飼野康二(和田薫編):勇気100%
 ● 2024年8月5日 東北の夢プロジェクト2024in岩手/トーサイクラシックホール岩手
 指揮:永峰大輔 ピアノ:上原彩子 お話とうた:江原陽子 ゲスト:4校合同「つながる」絆合唱団、
 葛巻神楽「鶏舞」(葛巻町立葛巻中学校)
 【第1部】信長貴富:夏休みコンサート50回記念《音楽のとびら》～管弦楽のためのファンファーレ～、
 アンダーソン:舞踏会の美女、ホルスト:組曲《惑星》より「木星」(夏休みコンサート版)
 【第2部】ショパン:幻想即興曲、ガーシュウィン:ラプソディ・イン・ブルー
 【第3部】①4校合同「つながる」絆合唱団、②葛巻神楽「鶏舞」(葛巻町立葛巻中学校)
 ▲ 【第4部】久石譲(和田薫編):さんぽ、岡野貞一(和田薫編):ふるさと、馬飼野康二(和田薫編):勇気100%
 2024年8月9日 フェスタサマーミュージアKAWASAKI2024/ミュージア川崎シンフォニーホール
 指揮:広上淳一 ヴァイオリン:服部百音
 J. シュトラウスⅡ世:ポルカ《狩》、メンデルスゾーン:ヴァイオリン協奏曲、チャイコフスキー:交響曲第5番
 ● 2024年8月11日 東北の夢プロジェクト2024in福島/けんしん郡山文化センター
 指揮:永峰大輔 ピアノ:上原彩子 お話とうた:江原陽子 ゲスト:請戸芸能保存会、船引中学校吹奏楽部
 【第1部】信長貴富:夏休みコンサート50回記念《音楽のとびら》～管弦楽のためのファンファーレ～、
 アンダーソン:舞踏会の美女、ホルスト:組曲《惑星》より「木星」(夏休みコンサート版)
 【第2部】ショパン:幻想即興曲、ガーシュウィン:ラプソディ・イン・ブルー
 【第3部】①請戸の田植踊(請戸芸能保存会)、②船引中学校吹奏楽部
 ● 【第4部】久石譲(和田薫編):さんぽ、岡野貞一(和田薫編):ふるさと、馬飼野康二(和田薫編):勇気100%
 2024年8月20日 落合陽一×日本フィルプロジェクトVol. 8《変幻する演奏会》
 /サントリーホール大ホール
 総合演出:落合陽一 指揮:海老原光 鬼太鼓:畑野熊野神社祭典青年鬼組 映像演出:WOW
 MC:江原陽子 トーク:松田祐樹
 芥川也寸志:弦楽のための三楽章(トリプティック)、鬼太鼓(畑野熊野神社祭典青年鬼組)、
 藤倉大:Demon Dance(承前啓後継往開来Ⅱ 日本フィルハーモニー交響楽団委嘱作品)[世界初演]、
 プロコフィエフ:《ロメオとジュリエット》第2組曲第1曲「モンタギュー家とキャピュレット家」、
 ベルリオーズ:幻想交響曲より第3、4、5楽章
 ▲ 2024年8月23日 武蔵野合唱団定期演奏会/ミュージア川崎シンフォニーホール
 指揮:松井慶太 合唱:武蔵野合唱団 バリトン:萩原潤 ソプラノ:田崎尚美 バリトン:大沼徹
 バンダ:東京吹奏楽団
 ワーグナー:オペラ《タンホイザー》より「行進曲」「殿堂のアリア」「夕星の歌」「巡礼の合唱」「フィナーレ」、
 ウォルトン:オラトリオ《ベルシャザールの饗宴》
 ▲ 2024年8月28日 東京音楽コンクール【金管部門】/東京文化会館
 指揮:鈴木織衛 ホルン:⑤多田凌吾 トランペット:①西村大地 ④東川理恩
 トロンボーン:③パブロ・ティティアイエフ ⑥福島莉那 チューバ:②白井翼
 ①アルチュニアン:トランペット協奏曲、②ヴォーン・ウィリアムズ:バス・チューバ協奏曲、
 ③トマジ:トロンボーン協奏曲、④アルチュニアン:トランペット協奏曲、
 ⑤R. シュトラウス:ホルン協奏曲第2番、⑥トマジ:トロンボーン協奏曲
 ▲ 2024年8月30日 東京フロイデ合唱団第24回演奏会/東京芸術劇場コンサートホール
 指揮:小松長生 合唱:東京フロイデ合唱団 ソプラノ:小林沙羅 メゾ・ソプラノ:林美智子 テノール:福井敬
 バリトン:青山貴
 ロッシーニ:歌劇《セミラーミデ》序曲、ベートーヴェン:交響曲第9番《合唱》
 ▲ 2024年9月1日 荒川フレッシュ名曲コンサート/サンパール荒川
 指揮:角田鋼亮 ヴァイオリン:橘和美優
 モーツァルト:歌劇《ドン・ジョヴァンニ》序曲、チャイコフスキー:ヴァイオリン協奏曲、
 ドヴォルジャーク:交響曲第8番

- 2024年9月6,7日 第763回東京定期演奏会／サントリーホール大ホール
指揮：カーチュン・ウォン
ブルックナー：交響曲第9番(3楽章版)
- ▲ 2024年9月10日【単独1】舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)／八王子市立中山小学校(東京)
指揮：碓山隆一郎 ソプラノ：今井実希
ビゼー：歌劇《カルメン》より「闘牛士の行進」、【楽器紹介(木管→金管→打楽器→Hp→弦楽器)】、
モーツァルト：《アイネ・クライネ・ナハトムジーク》より第1楽章、プッチーニ：歌劇《ジャンニ・スキッキ》より「私の
お父さん」、岡野貞一：もみじ、ドリーブ：バレエ音楽《コッペリア》よりワルツ、【指揮者体験／ブラームス：ハン
ガリー舞曲第5番】、ブラームス：ハンガリー舞曲第5番、ベートーヴェン：交響曲第5番《運命》より第1楽章、
(アンコール 校歌、J.シュトラウスⅠ世：ラデツキー行進曲)
- ★ 2024年9月13日 第145回さいたま定期演奏会／大宮ソニックシティ大ホール
- ▲ 2024年9月14日 第23回相模原定期演奏会／相模女子大学グリーンホール
- 2024年9月15日 第406回名曲コンサート／サントリーホール大ホール
指揮：原田慶太楼 ヴァイオリン：辻彩奈(13,15日) 吉本梨乃(14日)
ヒグドン：ファンファーレ・リトミコ、モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲第4番、ショスタコーヴィチ：交響曲第5番
- 2024年9月20日 特別演奏会／東京オペラシティ
- 2024年9月21日 第400回横浜定期演奏会／横浜みなとみらいホール
指揮：カーチュン・ウォン ピアノ：ゲルハルト・オピッツ
ブラームス：ピアノ協奏曲第2番、チャイコフスキー：交響曲第4番
- ▲ 2024年9月23日 杉並公会堂シリーズ2024-2025第1回／杉並公会堂大ホール
指揮：垣内悠希 ピアノ：小山実稚恵
ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第5番《皇帝》、ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番
- ★ 2024年9月25日 にじくら第5回／サントリーホール大ホール
指揮：広上淳一 ヴァイオリン：竹澤恭子
モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲第5番《トルコ風》、坂本龍一：八重の桜、林光：花神、吉俣良：篤姫、
モリコーネ：ニューシネマ・パラダイス、ジョン・ウィリアムズ：シンドラーのリスト、菅野祐悟：軍師官兵衛、
ジョン・グラム：麒麟がくる
- 2024年9月28日 コバケン・ワールドinKYOTO／ロームシアター京都
- 2024年9月29日 コバケン・ワールドVol. 37／昭和女子大学 人見記念講堂
指揮：小林研一郎 ヴァイオリン：高木凜々子
スッペ：オペレッタ《軽騎兵》序曲、エルガー：愛のあいさつ、サラサーテ：ツィゴイネルワイゼン、
サラサーテ：カルメン幻想曲、ベートーヴェン：交響曲第5番《運命》
- 2024年10月5日 第401回横浜定期演奏会／横浜みなとみらいホール
指揮：出口大地 チェロ：鳥羽咲音
ハチャトゥリアン：バレエ音楽《スパルタクス》より「スパルタクスとフリーギアのアダージョ」、
カバレフスキー：組曲《道化師》、チャイコフスキー：ロココの主題による変奏曲、ムソルグスキー(ラヴェル編)：
組曲《展覧会の絵》
- ▲ 2024年10月6日 武州ガス弦楽オーケストラコンサート／ウェスタ川越
指揮：永峰大輔 ソプラノ：隠岐彩夏 フルート：真鍋恵子 MC：江原陽子
モーツァルト：ディヴェルティメント ヘ長調 K. 138、ヴィヴァルディ：ヴァイオリン協奏曲集《四季》より
秋1楽章／冬2楽章／春1楽章／夏3楽章、ヴィヴァルディ：フルート協奏曲《ごしきひわ》、
プッチーニ：歌劇《トスカ》より「歌に生き、恋に生き」、レハール：《メリー・ウィドー》より「ヴィリアの歌」、
ヘンデル：オンブラ・マイ・フ、シューベルト：野ばら、山田耕筰：赤とんぼ、アンダーソン：ジャズ・ピチカート、
アンダーソン：ジャズ・レガート、アンダーソン：フィドル・ファドル、岡野貞一：ふるさと
- ▲ 2024年10月13日 第17回UBEクラシックコンサート／渡辺翁記念会館
指揮：大井剛史 フルート：高木綾子
スッペ：オペレッタ《軽騎兵》序曲、モーツァルト：フルート協奏曲第2番、J. シュトラウスⅡ世：喜歌劇
《こうもり》序曲、J. シュトラウスⅡ世：ワルツ《ウィーン気質》、
モーツァルト：ディヴェルティメント K. 136、ロッシーニ：歌劇《ウィリアム・テル》序曲
- 2024年10月18,19日 第764回東京定期演奏会／サントリーホール大ホール
指揮：小林研一郎 ピアノ：高木竜馬
ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番、ブラームス：交響曲第1番
- ▲ 2024年10月21日【第2クール】舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)／横手市立吉田小学校(秋
田)
指揮：阿部未来 ソプラノ：今井実希

- ビゼー：歌劇《カルメン》より「闘牛士の行進」、【楽器紹介(木管→金管→打楽器→Hp→弦楽器)】、
モーツァルト：《アイネ・クライネ・ナハトムジーク》より第1楽章、プッチーニ：歌劇《ジャンニ・スキッキ》より「私の
お父さん」、岡野貞一：もみじ、ドリーブ：バレエ音楽《コッペリア》よりワルツ、【指揮者体験／ブラームス：ハン
ガリー舞曲第5番】、ブラームス：ハンガリー舞曲第5番、ベートーヴェン：交響曲第5番《運命》より第1楽章、
(アンコール 校歌、J. シュトラウス I 世：ラデツキー行進曲)
- ▲ 2024 年 10 月 22 日 【第2クール】舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)／宮古市立宮古小学校(岩
手) 指揮：阿部未来 ソプラノ：今井実希
ビゼー：歌劇《カルメン》より「闘牛士の行進」、【楽器紹介(木管→金管→打楽器→Hp→弦楽器)】、
モーツァルト：《アイネ・クライネ・ナハトムジーク》より第1楽章、プッチーニ：歌劇《ジャンニ・スキッキ》より「私の
お父さん」、岡野貞一：もみじ、ドリーブ：バレエ音楽《コッペリア》よりワルツ、【リコーダー共演／きらきら星】、
ベートーヴェン：交響曲第5番《運命》より第1楽章、(アンコール 校歌、J. シュトラウス I 世：ラデツキー行進
曲)
- 2024 年 10 月 27 日 第407回名曲コンサート／サントリーホール大ホール
指揮：広上淳一 合唱：日本フィルハーモニー協会合唱団 オルガン：長井浩美 ソプラノ：中村恵理 アルト：
福原寿美枝 テノール：宮里直樹 B：高橋宏典
J. S. バッハ：主イエス・キリスト、われ汝を呼ぶ、ヴィドール：オルガン交響曲第5番より第5楽章、
J. S. バッハ：主よ、人の望みの喜びよ(以上3曲オルガン独奏)、ヴェルディ：《レクイエム》
- 2024 年 11 月 1、2 日 第765回東京定期演奏会／サントリーホール大ホール
指揮、オーボエ：フランソワ・ルルー
ラフ：シンフォニエッタ、メンデスゾーン(タルクマン編)：《無言歌》より1、2、3、5、7、
メンデルスゾーン：交響曲第3番《スコットランド》
- ▲ 2024 年 11 月 5 日 【単独3】舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)／加美町立鳴瀬小学校(宮城)
指揮：石崎真弥奈 ソプラノ：今井実希
ビゼー：歌劇《カルメン》より「闘牛士の行進」、【楽器紹介(木管→金管→打楽器→Hp→弦楽器)】、
モーツァルト：《アイネ・クライネ・ナハトムジーク》より第1楽章、プッチーニ：歌劇《ジャンニ・スキッキ》より「私の
お父さん」、岡野貞一：もみじ、ドリーブ：バレエ音楽《コッペリア》よりワルツ、【指揮者体験／ブラームス：ハン
ガリー舞曲第5番】、ブラームス：ハンガリー舞曲第5番、ベートーヴェン：交響曲第5番《運命》より第1楽章、
(アンコール 校歌、J. シュトラウス I 世：ラデツキー行進曲)
- ★ 2024 年 11 月 9 日 第146回さいたま定期演奏会／大宮ソニックシティ大ホール
指揮：小林研一郎 ピアノ：小山実稚恵
ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番、リムスキー＝コルサコフ：交響組曲《シェヘラザード》
- ▲ 2024 年 11 月 10 日 秋川フレッシュ名曲コンサート／秋川キララホール
指揮：鈴木織衛 ヴァイオリン：前田妃奈
シベリウス：フィンランディア、グリーグ：《ペール・ギュント》より第1組曲、
ドヴォルジャーク：スラブ舞曲第1番op. 46-1、ドヴォルジャーク：我が母の教えたまいし歌、
サラサーテ：ツイゴイネルワイゼン、スメタナ：連作交響詩《我が祖国》より「モルダウ」
- ▲ 2024 年 11 月 12 日 【第4クール】舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)／千葉市立泉谷小学校
(千葉) 指揮：碓山隆一郎 ソプラノ：今井実希
ビゼー：歌劇《カルメン》より「闘牛士の行進」、【楽器紹介(木管→金管→打楽器→Hp→弦楽器)】、モーツァ
ルト：《アイネ・クライネ・ナハトムジーク》より第1楽章、プッチーニ：歌劇《ジャンニ・スキッキ》より「私の
お父さん」、岡野貞一：もみじ、ドリーブ：バレエ音楽《コッペリア》よりワルツ、【リコーダー共演／きらきら星】、ベート
ーヴェン：交響曲第5番《運命》より第1楽章、(アンコール 校歌、J. シュトラウス I 世：ラデツキー行進曲)
- ▲ 2024 年 11 月 13 日 【第4クール】舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)／松戸市立東松戸小学校
(千葉) 指揮：碓山隆一郎 ソプラノ：今井実希
ビゼー：歌劇《カルメン》より「闘牛士の行進」、【楽器紹介(木管→金管→打楽器→Hp→弦楽器)】、
モーツァルト：《アイネ・クライネ・ナハトムジーク》より第1楽章、プッチーニ：歌劇《ジャンニ・スキッキ》より「私の
お父さん」、岡野貞一：もみじ、ドリーブ：バレエ音楽《コッペリア》よりワルツ、【指揮者体験／ブラームス：ハン
ガリー舞曲第5番】、ブラームス：ハンガリー舞曲第5番、ベートーヴェン：交響曲第5番《運命》より第1楽章、
(アンコール 校歌、J. シュトラウス I 世：ラデツキー行進曲)
- ▲ 2024 年 11 月 16 日 杉並公会堂シリーズ2024-2025第2回／杉並公会堂大ホール
指揮：広上淳一 ヴァイオリン：辻彩奈
ベートーヴェン：ヴァイオリン協奏曲、メンデルスゾーン：交響曲第4番《イタリア》
- 2024 年 11 月 23 日 第402回横浜定期演奏会／横浜みなとみらいホール
- 2024 年 11 月 24 日 第408回名曲コンサート／サントリーホール大ホール
指揮：ピエタリ・インキネン ヴァイオリン：神尾真由子

- グラズノフ:ヴァイオリン協奏曲、R. シュトラウス:アルプス交響曲
2024 年 11 月 29,30 日 第766回東京定期演奏会/サントリーホール大ホール
指揮:パヴェウ・カプワ ピアノ:セドリック・ティベルギアン
ブラームス:ピアノ協奏曲第2番、シューマン:交響曲第2番
- ▲ 2024 年 12 月 2 日 【第5クール】舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)/昭島市立拝島第二小学校
▲ 2024 年 12 月 3 日 【第5クール】舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)/青梅市立河辺小学校
指揮:碓山隆一郎 ソプラノ:今井実希
ビゼー:歌劇《カルメン》より「闘牛士の行進」、【楽器紹介(木管→金管→打楽器→Hp→弦楽器)】、
モーツァルト:《アイネ・クライネ・ナハトムジーク》より第1楽章、プッチーニ:歌劇《ジャンニ・スキッキ》より「私の
お父さん」、岡野貞一:もみじ、ドリーブ:バレエ音楽《コッペリア》よりワルツ、【リコーダー共演/きらきら星】、
ベートーヴェン:交響曲第5番《運命》より第1楽章、(アンコール 校歌、J.シュトラウス I 世:ラデツキー行進曲)
- ▲ 2024 年 12 月 7 日 宇都宮第九演奏会/宇都宮市立文化会館
指揮:下野竜也 合唱:宇都宮第九合唱団 ソプラノ:今井実希 メゾソプラノ:郷家暁子 テノール:濱松孝行
バリトン:大川博
ニコライ:歌劇《ウィンザーの陽気な女房たち》序曲、ベートーヴェン:交響曲第9番《合唱》
- 2024 年 12 月 8 日 第24回相模原定期演奏会/相模女子大学グリーンホール
指揮:下野竜也 ピアノ:伊藤恵
ベートーヴェン:歌劇《フィデリオ》序曲、ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第5番《皇帝》、ベートーヴェン:交響曲
第6番《田園》
- ★ 2024 年 12 月 13 日 さいたま「第九」演奏会2024/大宮ソニックシティ大ホール
● 2024 年 12 月 15 日 第九特別演奏会(協賛:エレコム)/サントリーホール大ホール
● 2024 年 12 月 21 日 第403回横浜定期演奏会/横浜みなとみらいホール
指揮:下野竜也 ソプラノ:富平安希子 メゾソプラノ:小泉詠子 テノール:糸賀修平 バリトン:宮本益光
合唱:埼玉第九合唱団(13日) 日本フィルハーモニー協会合唱団(15日) 東京音楽大学(21日)
ニコライ:歌劇《ウィンザーの陽気な女房たち》序曲、ベートーヴェン:交響曲第9番《合唱》
- 2024 年 12 月 22 日 第九特別演奏会(協賛:ローム)/サントリーホール大ホール
● 2024 年 12 月 25 日 第九特別演奏会(協賛:ウエルシア)/ミュゼ川崎シンフォニーホール
● 2024 年 12 月 27 日 第九特別演奏会(協賛:大栄不動産)/東京オペラシティ
● 2024 年 12 月 28 日 第九特別演奏会(協賛:千代田化工建設)/横浜みなとみらいホール
指揮:小林研一郎 ソプラノ:小川栞奈(22、25日) 市原愛(27、28日) メゾソプラノ:山下牧子
テノール:錦織健(22、25日) 笛田博昭(27、28日) バリトン:青山貴 合唱:東京音楽大学(22、25日)
日本フィルハーモニー協会合唱団(27、28日) オルガン:石丸由佳
ブラームス:コラール前奏曲《わが心の切なる喜び》op. 122、J. S. バッハ:クリスマスコラール《甘き喜びのう
ちに》BWV608、J. S. バッハ:トッカータとフーガ ニ短調 BWV565(以上3曲オルガン独奏)、
ベートーヴェン:交響曲第9番《合唱》
- 2024 年 12 月 26 日 第九特別演奏会(協賛:非破壊検査)/昭和女子大学 人見記念講堂
指揮:小林研一郎 ソプラノ:小川栞奈 メゾソプラノ:山下牧子 テノール:錦織健 バリトン:青山貴
ヴァイオリン:木野雅之 合唱:武蔵野合唱団
J. S. バッハ:無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第2番 ニ短調 BWV1001より「シャコンヌ」(ヴァイオ
リン独奏)、ベートーヴェン:交響曲第9番《合唱》
- ★ 2025 年 1 月 11 日 第147回さいたま定期演奏会/大宮ソニックシティ大ホール
指揮:沼尻竜典 ヴァイオリン:三浦文彰
ブラームス:ヴァイオリン協奏曲、ドヴォルジャーク:交響曲第9番《新世界より》
- 2025 年 1 月 12 日 コバケン・ワールド Vol.38/サントリーホール大ホール
指揮:小林研一郎 ヴァイオリン:田野倉雅秋
J. シュトラウス II 世:ワルツ《美しく青きドナウ》、メンデルスゾーン:ヴァイオリン協奏曲、
ドヴォルジャーク:交響曲第9番《新世界より》
- 2025 年 1 月 17,18 日 第767回東京定期演奏会/サントリーホール大ホール
指揮:山田和樹 ヴァイオリン:周防亮介
エルガー:行進曲《威風堂々》第1番、ヴォーン・ウィリアムズ:揚げ雲雀、エルガー:交響曲第2番
- ▲ 2025 年 1 月 21 日 都民芸術フェスティバル/すみだトリフォニーホール
指揮:高橋直史 ヴァイオリン:南紫音
吉松隆:鳥は静かに…、シベリウス:ヴァイオリン協奏曲、シベリウス:交響曲第2番
- 2025 年 1 月 25 日 第404回横浜定期演奏会/横浜みなとみらいホール
● 2025 年 1 月 26 日 特別演奏会/東京オペラシティ

- 指揮:藤岡幸夫 フルート:Cocomi
武満徹:組曲《波の盆》、モーツァルト:フルート協奏曲第2番、ルグラン:交響組曲《シェルブールの雨傘》
- ★ 2025年1月29日 にじくら第6回/サントリーホール大ホール
指揮:園田隆一郎 ギター:村治佳織 オルガン:勝山雅世 MC:高橋克典
ロドリゴ:アランフェス協奏曲、サン＝サーンス:交響曲第3番《オルガン付き》
- ▲ 2025年1月31日 杉並公会堂シリーズ2024-2025第3回/杉並公会堂大ホール
指揮:藤岡幸夫 ピアノ:阪田知樹
グリーグ:ピアノ協奏曲、シベリウス:交響曲第2番
- ▲ 2025年2月2日 あなたも平塚で音楽人に♪Vol.9 素敵な音楽人へ With 日本フィルハーモニー交響楽団/ひらしん平塚文化芸術ホール
指揮:下野竜也 MC:加藤昌則
ベルリオーズ:ローマの謝肉祭、【解説、ピックアップ演奏/ベルリオーズ:幻想交響曲】、
ベルリオーズ:幻想交響曲
- 2025年2月8日 第50回九州公演(長崎)/長崎市民会館
指揮:カーチュン・ウォン チェロ:宮田大
エルガー:《威風堂々》第1番(夏休みコンサート版)、エルガー:チェロ協奏曲、
チャイコフスキー:交響曲第5番
- 2025年2月9日 第50回九州公演(大牟田)/大牟田文化会館
指揮:カーチュン・ウォン チェロ:宮田大
エルガー:《威風堂々》第1番(夏休みコンサート版)、エルガー:チェロ協奏曲、ムソルグスキー(ラヴェル編):
組曲《展覧会の絵》
- 2025年2月11日 第50回九州公演(北九州)/北九州ソレイユホール
指揮:カーチュン・ウォン ピアノ:仲道郁代
エルガー:《威風堂々》第1番(夏休みコンサート版)、ショパン:ピアノ協奏曲第1番、
ムソルグスキー(ラヴェル編):組曲《展覧会の絵》
- 2025年2月12日 第50回九州公演(大分)/iichikoグランシアタ
指揮:カーチュン・ウォン ピアノ:仲道郁代
エルガー:《威風堂々》第1番(夏休みコンサート版)、ショパン:ピアノ協奏曲第1番、
チャイコフスキー:交響曲第5番
- 2025年2月14日 第50回九州公演(都城)/都城市総合文化ホールmj
指揮:カーチュン・ウォン ピアノ:仲道郁代
エルガー:《威風堂々》第1番(夏休みコンサート版)、ショパン:ピアノ協奏曲第1番、
チャイコフスキー:交響曲第5番
- 2025年2月15日 第50回九州公演(鹿児島)/宝山ホール
指揮:カーチュン・ウォン ピアノ:仲道郁代
エルガー:《威風堂々》第1番(夏休みコンサート版)、ショパン:ピアノ協奏曲第1番、
ムソルグスキー(ラヴェル編):組曲《展覧会の絵》
- 2025年2月16日 第50回九州公演(福岡)/アクロス福岡シンフォニーホール
指揮:カーチュン・ウォン チェロ:宮田大
エルガー:《威風堂々》第1番(夏休みコンサート版)、エルガー:チェロ協奏曲、
チャイコフスキー:交響曲第5番
- 2025年2月18日 第50回九州公演(佐賀)/佐賀市文化会館
指揮:カーチュン・ウォン チェロ:宮田大
エルガー:《威風堂々》第1番(夏休みコンサート版)、エルガー:チェロ協奏曲、ムソルグスキー(ラヴェル編):
組曲《展覧会の絵》
- 2025年2月19日 第50回九州公演(熊本)/熊本県立劇場
指揮:カーチュン・ウォン ピアノ:仲道郁代
エルガー:《威風堂々》第1番(夏休みコンサート版)、ショパン:ピアノ協奏曲第1番、
チャイコフスキー:交響曲第5番
- 2025年3月1日 第409回名曲コンサート/サントリーホール大ホール
指揮:カーチュン・ウォン ヴァイオリン:小林美樹
伊福部昭:日本組曲、チャイコフスキー:ヴァイオリン協奏曲、
ムソルグスキー(ラヴェル編):組曲《展覧会の絵》
- 2025年3月7,8日 第768回東京定期演奏会/サントリーホール大ホール
指揮:カーチュン・ウォン ソプラノ:吉田珠代 メゾソプラノ:清水華澄 合唱:東京音楽大学

- マーラー：交響曲第2番
- ★ 2025年3月15日 第148回さいたま定期演奏会／大宮ソニックシティ大ホール
指揮：梅田俊明 パレエ団：牧阿佐美パレエ団
プロコフィエフ：パレエ《ロメオとジュリエット》(ソニックシティ特別版)
- 2025年3月17日 特別演奏会(協賛：オービック)／サントリーホール大ホール
指揮：小林研一郎 ピアノ：高木竜馬 MC：朝岡聡
グリーグ：ピアノ協奏曲、ドヴォルジャーク：交響曲第8番
- ▲ 2025年3月21日 杉並公会堂シリーズ2024－2025第4回／杉並公会堂大ホール
- 2025年3月22日 第405回横浜定期演奏会／横浜みなとみらいホール
指揮：小林研一郎 ヴァイオリン：中野りな
チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲、リムスキー＝コルサコフ：交響組曲《シェエラザード》
- 2025年3月23日 コバケン・ワールドVol. 39／サントリーホール大ホール
指揮：小林研一郎 ピアノ：田部京子
モーツァルト：ピアノ協奏曲第20番、リムスキー＝コルサコフ：交響組曲《シェエラザード》
- 2025年3月29日 エデュケーション・フェスティバル／杉並公会堂大ホール
指揮：和田一樹 MC：石井あみ
ビゼー：歌劇《カルメン》より「闘牛士の行進」、J. シュトラウスⅡ世：ポルカ「観光列車」、J. シュトラウスⅡ世：ポルカ「雷鳴と電光」、アンダーソン：シンコペーテッド・クロック、星に願いを、森のくまさん(会場合唱)、ブラームス：ハンガリー舞曲第5番、オフエンバック：歌劇《天国と地獄》序曲より「カンカン・ダンス」、マスカーニ：歌劇《カヴァレリア・ルスティカーナ》より間奏曲、エルガー：《威風堂々》第1番(夏休みコンサート版)